

日向あき子 あきこ 美術評論家。昭和五年岐阜縣生れ、平成十四年没（一九三〇—二〇〇二）。大阪府立女子大學國文國史學科卒。雑誌「美術手帖」、
 「芸術生活」、「婦人公論」等心美術評論を執筆。
 著書に、「ニーチェ・エロティシズム宣言」（昭和四十五年六月二十日荒地出版社）、「原始の心—共有とBe感覺」（昭和四十七年四月十五日
 社会思想社）、「視覚文化」（昭和五十三年一月二十一日紀伊國屋書店）「カパセル叢書」等の他、ジャン・コクトー、パスカル・セツセ
 等の譯書がある。

